第1493號（水曜日）昭和26年4月4日 夕刊 いわき民報 昭和24年2月28日 運輸省特別扱承認第38號 昭和21年5月1日（第三種郵便物認可） 日刊（除月曜） (1)

いわき民報

發行所
平市田町48 電381 176 1222
いわき民報社
編集兼發行人 印刷人 田原登

本紙は自由に購讀できます
四倉町のお申込みは
四倉新聞共販所へ
四倉町驛前

選擧戰愈よ開幕

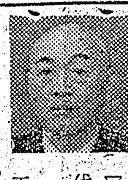
きよう立候補届出し

三日選擧告示と共に愈よ地方選擧戰の幕は切つて下された、この日暦は佛滅と云う爲か縁起をかついで立候補届出するものが尠く午前中に届出でしたものは平市議選は三名、石城郡下の縣議選は一名だけであつた、四日は大安、六日は先勝と云うのでどつと届出る模樣である

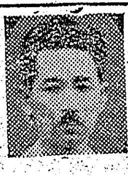
縣議立候補者

▽大井川正巳（四八）會社重役、湯本町字三函八〇、民主黨（前）

市議立候補者



▽荒川千代造（五一）農業 平市七軒町一八、無所屬（現、平市農業共濟組合長、縣酒類卸商組平支店長）



▽町田徳治（四七）運搬工手 平市禰宜町六八、無所屬（元常磐炭鑛勞組副組合長、平發電所勤務）

▽鑑庄造（五〇）國鐵職員 平市鎌田町一四、無所屬（現市議）

立候補者に用紙等支給

平市選擧管理委員會では三日から地方選擧の受付けを開始したが、當日は荒川千代造氏が午前九時の受付けで一番乘り立候補の届出を濟ました者には『候補者用ポスター用紙』を市の斡旋で八ツ切り版六十八枚（時價八百五十円）を百九十五円で支給される、尚『新聞廣告掲載證明書』『自動車使用證明書』『擴聲器使用交付證明書』『有料葉書候補者證明書』等が交付される

不在投票の皮切り

平市月見町二七渡邊五郎さん（二二）は三日不在投票の皮切りをなした

卅名の處へ八十名出馬か

湯本町議選押すなく

湯本町では町長選擧はないが町議定員三十名のところへ約十名の立候補者が豫想される炭鑛側から廿四名、町から五十六名位出るらしく東町、驛前通りはまさに軒並の出馬で相當の苦戰が展開されるとみられている、尚青年が八人も出馬するらしく中共產黨一名も出る模樣

内郷も激戰

内郷町では町長選擧は町內有志から統一候補として推せんされている自由黨公認沼田一夫氏と鈴木喜政氏一派及び社會黨から推され助役を辭職した磯貝信夫氏の出馬が確定的で一騎打ち熱戰が展開されると豫想されその勢力も伯仲だと云われる、共產黨から佐々木賦氏の出馬も噂されている 町議は定員三十名のところ常磐炭鑛會社側十一名、勞組關係十五名、一般から三十四名計六〇名位の立候補か豫想され大激戰となる模樣

選擧說明會

錦町では二日同地小學校で選擧に關する說明會を開き三日は選擧事務連絡員會を開いた

供託金狀況

地方法務局平支局で三日正午までに受付けた地方選擧立候補者の供託金は縣議十五名、市長一名、市議三十一名となつている

關谷次官

跨線橋視察

運輸省、關谷運輸次官は三日午後一時八分着常磐線下りで來平、平市跨線橋問題で視察を行い午後四時の急行で仙台に向つた

植田町新豫算の內容

植田町會は去る二十七日から三日間に亘つて新年度豫算を主題に盛澤山の議案を審議大部分原案通り可決した、新年度豫算は一千九百八十七万八千百四十九円で前年度當初豫算に比し六百十二万六千円の增、前年度最終實行豫算額二千五百五十一万四千四百七十円に比し五十六万三千六百卅三円の減となつている、歳入の主なるものは町稅一千三十九万七千三百八十四円、平衡交付金四百九十三万二千円、使用料及手數料十三万六千三百六十円、國庫支出金三百八万一千九十八円、國庫補助金八十四万七千五十八円、縣支出金八十六万四千五百七十七円縣負擔金卅万四千三百七十三円、縣補助金五十六万一百四円、雑收入四十一万三千五百五十五円、其他、歳出面では議會費三十八万三千九百円役場費四百八十一万二千九百三十四円、前年度に比し七十三万二千八百二十二円の增で三役以下職員の昇給と諸手當及び需要費と交際費等の增によるもの、警察消防費三百六十三万六千三百五十七円、土木費は三十二万八千九百四十円、敎育費は三百四十六万五千七百十九円、公民館費は六十万八百七十八円、專任館長と職員一名を設置する兒童福祉費百七十三万二千円、産業經濟費四十二万六千五十四円

錦町新豫算を可決

錦町では去る二十八日町會を開き、新年度豫算を可決した豫算額は二千四百八十四万八千三百三十四円で前年度に比し一千二百十九万七百二十八円の增、歳入の主なるものは町稅一千八百八十三万九千円平衡交付金百十六万七千円、國庫補助金、手數料、社會事業費負擔金其の他で歳出では役場費四百六十五万九千四百八十八円、警察費三百三万六百三十四円、消防費五十二万五千二百四十一円、土木費百七十四万七千二百円、敎育費六百七万五百十一円、新規事業として町營住宅費として百六十六万八百六十円、此の外土地買收費の七万五千円保健衞生費三百四十七万八千三百六十六円、又下水及び道路修繕費として百五十万円、産業經濟費八十九万五千九十七円などである

入漁問題協議

六日海區調整委會

石城海區調整委員會は六日午前十時から縣水產事務所會議室に開き、かねて小名濱、江名の兩濱から嘆願書が出されていた小舟の入漁問題を審議する

ふじ寄港

第一管區海上保安本部所屬の新造船『ふじ』（二七〇トン型鋼船）はこの程完成函館へ廻船の途中三日午後一時小名濱に寄港した

なお同船船長はもと小名濱海上保安部警備救難課長飯坂宙成氏で同保安部で配屬方陳情している姉妹船である

明朗な見送り

糸姫ら古河へ

新制中學校を巣立つて實社會への第一歩を踏み出す就職組の第一陣湯本中卒本瀬高子さん外二十三名は平職安所鵜沼事務官に付き添われ決定した勤め先の茨城縣古河市須藤製糸株式會社向け二日午前十一時十分平發上りで赴任の途についた、驛頭で別れを惜しむ家族たちの姿は昔の女工哀史涙の別れの面影は更になく明るい見送りだつた

棚村判事辭職

地裁平支部判事補棚村重信氏は去月三十一日退職、郷里の新潟縣長岡市で辯護士を開業する、同氏は二十四年十二月福岡地裁から轉任、主に少年事件を擔當していて退職は非常に惜しまれている

論說委員三氏招き

時局大講演會

五日夜公會堂で開く

石城政經クラブ主催の第一回時局大講演會は朝日、毎日、讀賣各新聞社の論說委員三氏を招き五日午後六時半から平市公會堂本館で催されるが東京三大紙の論說委員の顔合せは珍らしいことで盛會が豫想される、入場無料、一般の來聽を歡迎、出席講師次の通り

▽ソ連をめぐる國際情勢 毎日新聞社、黒田乙吉氏（ソ連通、外交評論家）▽日本をめぐる國際情勢 朝日新聞社、荒垣秀雄氏（天聲人語の筆者）▽吉田內閣論、讀賣新聞社、古田德次郎氏（政治部長）

昨夜江名の大火

製菓、冷凍工場など燒く

二日午後九時四十分ころ江名町大字折戸字岸浦三ヵ桑原製菓株式會社工場＝責任者藤枝操氏（三九）から發火、火は見る見るうちに燃え擴がり同工場三棟（三二〇坪）及び隣接の縣鰹鮪漁業協同組合冷凍工場一棟（四〇〇坪）同町大字折戸吉田英治さん（四〇）所有水產加工場一棟製菓工場從業員三世帶、冷凍工場從業員四世帶を全燒して同十二時頃鎭火した、原因調査中、損害約五千万円

同町中の作字桜戸漁業吉田要二郎さん（四八）は消火作業中顔を擦傷全治二十日間の重傷を負つた

なお大火で砂糖五トン、ベン六トンを消失した

三輪車を購入

小名濱町署

小名濱町署ではこの程オート三輪車（二十五万円）一台を購入、警羅、犯人捜査、非常出動等に萬全を期することになつた

疑似赤痢

平市月見町

二七雑貨商佐藤邦一（四七）さんと内郷町大字高坂字御殿一無職齋藤ミチ子（二六）さんはそれぞれ疑似赤痢、内郷町大字白水字大釉田梅津敏晴（三ツ）ちやんは疫痢と一日決定、隔離

表彰狀傳達

愛護團體等に

河川及び道路工事等に特に盡瘁した左の愛護團体及び個人に對し去月二十五日付大竹知事より表彰狀と金一封が贈られた

山田村河川愛護會、川部村河川愛護會、入遠野村道路愛護會、道路工夫蛭田俊太郎尚道路工夫賞は植田地區では蛭田俊太郎氏一名右賞狀は二日植田土木監督所より傳達された

敎科書代に困りぬすむ

小名濱町馬島町無職岩下大（三八）は一日午前十一時ころ平第一小學校內玄關に置いてあつた内郷町御厩敎諭磯上節子さんの赤革短靴及び泉小學校樋口校長の短靴（計五千円相當）を盗み三日内郷町署から身柄を送檢された

長男が中學に進學するので敎科書代に困り盗みを働いたもの

石炭ドロ送檢

錦町大字中田字坂下石日雇人夫草野孝男（二六）は一日午前十一時ころ勿來町大字四澤字御殿山下地內で日本炭鑛專用軌道を進行中の炭車のハンドルを開いて積んであつた石炭四百四十二貫（四千百円相當）を盗んで內百貫位を附近の山中に隠していること發覺現行犯で勿來町署に捕まり、三日身柄送檢された

總務委員會

小名濱町では五日午前九時から同町役場會議室に總務委員會を開き保育所敷地買收について審議する

視察

東北民事部公衆衞生課ミスモトユキ氏は九日午後四時半に來平、十日母子衞生計畫の視察を行う

盗難

二日午後五時から六時半ころまでの間に常磐線植田－泉間大平山トンネル附近の信號用レールボンド四十本が盗まれた

羅針盤盗まる

小名濱町古港漁業庄司林太郎（二八）氏所有旭日丸（二十六トン）は三日午前一時ころ同港魚市場前に繋留中羅針盤一個（五千円相當）を盗まれた

天氣予報

三日

【今晩】北東の風曇りがち、一時小雨もようの悪い天氣【明日】北寄りの風曇りがち次第に晴れる、海上は北東の風で一時波立つが大したことはない

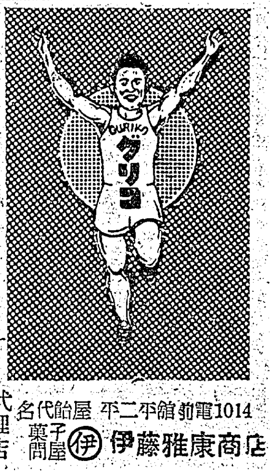
[illegible]

第10回 無税・總當り
常陽の幸運定期
幸運賞10万圓 1口千円 6ヵ月
つねに明るい 常陽銀行

女中さん募集
年令20才前後 委細面談
平市銀座通
電一七二番
酒喜家

御入學 御進級
今日のよろこび
永久のたのしみ
飯田寫眞館
平 紺屋町 聚樂館前

警察書記並雇募集
一、希望者は志願書に自筆履歴書を添えて四月六日までに當署警務課へ提出されたい
二、資格は高等學校（舊中學校）卒業程度以上の學歴を有する者で三十才未滿の男子
三、採用試驗は四月七日午前九時より當署において實施する
四、平市內よりの通勤者を希望する 待遇は地方公務員の待遇による 詳細は面談の上とする
平市警察長



代理店 名代飴屋 菓子問屋 伊 伊藤雅康商店 平二平館前 電1014

求社員
契約係男女25才以上中卒
履歴持參來社 他女子事務員
書算共堪能ナル方
平市白銀町十四驛前通り三菱相互融資ＫＫ

夢に逢うさえあきらめて
涙でしのんだ十七年
今宵涙は不吉と知れど
母は泣きます花嫁衣裳
★大映泣の大作★
母月夜 三益愛子 澤村晶子
天才少女白鳥みづえ初登場
大映『母月夜』は來る六日より八日まで短期公開三日間ですからお見逃しなきようお願い致します
世界館

春の憂うつ

鈴木武

何年かぶりの大雪に驚かされた冬も遠く過ぎ、櫻の蕾がぐん／＼大きくなつて晴れやかにぱつと咲き初める日を目前にひかえて、私は例年のことながら憂うつになる。

春の花の代表として櫻の花を愛することは、日本人の大多數がそうであるように、私も好きである。冬を越したときわ木やまだ芽ぶかないかつ葉樹の中に交つて、ほのかに遠慮深げに咲いている山櫻も一日何本と互にその研を競うように咲き誇る公園の、堤の池畔の、そのいずれも私はこよなく好きである

それなのに、いやそれだから私は開花を待ち望む樂しみよりも氣がかりが先にたつて憂うつになるのである

なぜなら、花見とは、花を見、枝を手折つて持ち歸ることと心得ている人が余りにも多いからである。そしてそのような人が年々增加してくるからであり特に若い人々、年少の人々に多く見られるからである

公園などで幼児を連れた、父や母親が櫻の小枝を手折つてその幼兒に與えるのを見てその將來が空恐しくなり、學校の敎師に引卒された生徒達の手に可憐な小枝（時には大枝）をいかにしば／＼見ることか…。公園その他の公共物を私してかえり見ないこのような行爲を私は心からにくむものである

三日見ぬ間の櫻かな、の句のように、その壽命の短い櫻花を壽命を待たず次から次と手折られて行くのを見て私の胸は手折られた枝々のようにうずき痛むのである

花見を又は紅葉見を櫻狩又は紅葉狩と私共は言うが、その狩とは大言海の說明をまつまでもなく、鷹狩とか卷狩の狩と同樣動物や物を探し出してかりとることである

けれども語源は語源として現代の櫻狩（紅葉狩）は決して櫻の枝や紅葉の枝を手折ることではないはずであり、すでに鑑賞すること、見て樂しむことに轉意しているはずであるが、語源を地で行く多くの行爲が今尙見られるのはなぜであろうか

一体私共日本人の血の中には昔から、世界にすぐれた自然の美を愛する余り、その自然美を已人の家の中にまで持ち込んで、日常居ながらにして自然の樂しみを味わう思想が或は庭園となり盆栽、盆景盆石となり、繪畫、華道となつて發達する一方、櫻狩或は紅葉狩等の狩の思想と合体脫線して上述のような、いまわしい、公德心の貧しい姿となつて今も尙その影を殘しているのではないだろうか

そこで私は聲を大にして次のことを特に若い人達に提唱したい

『自然を愛するものは自然を家に持ち込もうとする前に、先ず自然の懷の中にとび込みその美をその樂しみを思う存分味わいそして公共物又自然（自然は最も大きな公共物であるが）を出來るだけ多くの人々と共に樂しみ利用する對象とするように心がけようではないか』とかくしてこそ正しい公德心は養われかかる後に生れる庭園、華道、盆栽等々こそ古來日本人の理想後である『自然（美）の日常化』を實現する眞の原動力となることを信ずるからである、ああ今年こそ、私の春の憂うつと單なる杞憂であり樂しい花見でありたいものと切に望むものである

×　×　×

（日本交通公社）

常磐地區出炭目標 三百四十二萬屯

全國は四千四百万トン

廿六年度

配炭公團のあつた統制時代には常磐炭田の出炭は月產二十八―二十九万屯台だつたものがその後自由經濟に移向して以來急速な出炭能率を示めし最近では月產三十万屯台をオーバーするメザましい躍進振りを示めしているが、去月十五十六の兩日資源廳で行われた炭政課長會議では二十六年度の全國出炭目標が四千四百万屯と決定され二十五年分の三千九百屯より五百万屯の增炭が指示された、この結果東部（舊平石炭局）管内二十六年度分の出炭目標は三百七十万屯となり、うち常磐炭田地區は三百四十二万二千三百屯と決定された

本年度分常磐地區の出炭實績は大体三百十二万屯台を豫想され本年度分第四・四半期分は目標九十万一千屯に對し三月分實績を三十四万屯と豫想した場合九十二万五千屯とオーバーし「二十六年度第一・四半期は夏場にかかる始めなので從來までは出炭が減じていたが今年は需給の關係で減るようなことはない」と平石炭事務所ではみている

天皇御一家寫眞展

天皇御一家の寫眞展は三十一日、一日平驛前壽百貨店ホールで開いたが入場者非常に多く賑つた（寫眞はその狀況）

二中PTA

十二日總會

平二中PTA總會は十二日午後一時半から開催、二十五年度經過報告の後二十六年度豫算編成の審議並に役員改選を行う

密造狩に協力

感謝狀贈る

平稅務署では二十五年度中密造取締りに協力、酒稅確保を計つた勿來町、小名濱町、植田地區、平市の各警察署に二日感謝狀を贈り、湯本町、平地區の兩署には仙台國稅局長から感謝狀が贈られた

花祭り子供大會

旗行列や白象渡御

湯本町まこと文化協會、まこと子供會、ボーイスカウト石城第二隊共催花祭りは八日午前八時から同町三函中之寺境内に擧行、習字の展覽會、模擬店舖などを開き奉仕を行い午前九時から子供會兒童百七十名の旗行列と白象渡御、午後一時から改築した子供會館の開館を兼ね花祭り奉祝子供大會を開催、後舞踊、劇、唱歌幻燈寫眞會を開く

内郷の交通

月間プラン

内郷町署では全國的に實施される交通指導强化月間に伴い一日から指導敎育、街頭宣傳取締强化の三期に分ち學校諸官廳と協力し指導の强化を圖り自動車、自轉車等を用い街頭宣傳を實施すると共に橫斷幕、立看板、ポスターを掲示して啓蒙し車輛檢査も隨時勵行し交通取締を行うことになつた

自轉車盜まる

草野村大字泉崎字向原二專賣公社社員片寄正（三四）さんは一日正午ころ市内田町とらや旅館玄關前で中古自轉車一台（八千円相當）を盜まれた

惡質者に更正決定

百五十五名に發送

平稅務署では二十五年度確定申告に對する第一次更正決定百五十五名に對し一日それぞれ決定書を發送した、同署では二月末で確定申告を締り申告本位で更正決定はなくする方針で進んで來たが今度の更正決定にあつたものは惡質者に對してだけで、さらに七百名の申告者に對しても再調査の必要があり既に修正申告の三度目に亘る勸告を行つている、第一次の更正決定通知も三度目に亘る修正申告を勸告してあつたもの、前年と比較して前年は總納稅者二万四千名の二割だつたが今年は一万二千名の課稅者に對し一分强（第一次）となつている

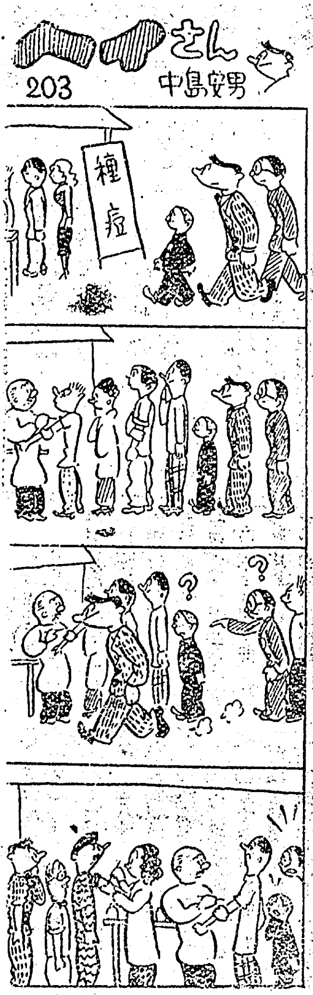
自轉車泥未遂

小名濱町字中窪魚商菊地賞（二三五）は二日午前零時十分ごろ同町沖見町地内で同町定西事務員宮本義雄（一五）さんの中古自轉車（六千円相當）を乘り逃げしようとした所を宮本さんに發見され小名濱町署に突き出された

猩紅熱 内郷町大字内町字前田三一古泉久（七ツ）ちやん、同字齊藤清美（二ツ）ちやんの二名は三十一日猩紅熱と決定、隔離

赤痢 湯本町東區三一採炭夫坂田信義さん次男陽（二ツ）ちやんは三十一日赤痢で隔離された

少年泥 湯本町の十八、九の少年三名は共謀で去る二十一日午後二時半頃常磐炭鑛六坑ズリ山から砲金メタル五コ時價五千円相當を盜み二日書類送檢



JOCP ラジオ JOHQ

ローカル【3日】郡山放送

前七・一五 あぜみち通信「農用林の經營」縣農改良課
後五・一六 子供の時間「三つのはなし」野村アナ
後六・三〇 池ノ台レコードコンサート 箭内和夫

東龍軒

泡立ちの良い ミスキ石鹸
昭和石鹸工業株式會社
濱三郎代理店 平市 伊勢ト

各國優秀品豐富
生地と既製服
高級紳士用 革カバン・洋品類
勉强で評判の店
鈴木勘氏商店
平市三丁目平和通 電732

洋服は あかや

春です！ カメラです
各種フイルム 現像 焼付 引伸
タナカカメラ
平三丁目 電576

風味
江戸前
立喰
やぶ[illegible] すし
◇折詰仕出し
御下命願います
【電話譲りうけたし】
出前迅速
新扇屋
平市中央通り 電886

Ⓣ
ペンシル

外科一般
放射線科
【入院隨意】
馬目醫院
小名濱町古湊
電話五三〇番

專門店のおすすめする優良万年筆用インキ
メーゼンインキ 55円
岡萬年筆店
平市中央通 電話三九九

お花見の折詰は御相談に應じます
日畜 マル井
平二 電二七一

サンフランシスコの
マカロニ
一袋一ポンド入 一八〇圓

外科 小兒科
三井醫院
平市仲田町六九
三井五郎
電六一一五

平名物
尼子まんじゅう
製造元 株式會社 平製パン
平市かじ町21

若い人の悩み
◎ニキビ
◎そばかす
◎ふきでもの
使い方の説明は
純金のぬり薬でこんなに美しく！
あこう藥局
平 銀座 電四四